

こやす おおつぼ
子易・大坪遺跡

伊勢原市 No.123 遺跡



1. 縄文時代後期 集落跡 調査風景



2. 縄文時代後期 竪穴住居跡



3. 縄文時代後期 竪穴住居跡 埋甕 検出状況



4. 近世河道 全景

● 主な調査成果

子易・大坪遺跡は、旧石器時代から近世にいたる遺跡ですが、現在出土品等整理作業中の調査区では、主に近世・中世・縄文時代の遺構・遺物が発見されています。近世では自然流路(河道)が確認されており、周囲の遺構を削っているため、各時代の遺物が混じり込んでいます。中世では周辺遺跡でも見つかっている断面 V 字状の溝状遺構があり、屋敷跡に関わる遺構として注目されます。縄文時代では縄文時代後期前葉の集落跡が発見されており、13 軒の竪穴住居跡が確認されています。

- 調査期間 2012年9月16日～2019年6月28日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市子易
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西に約3.5kmの丹沢山地南東山麓の丘陵上

